投稿

思い立ったが吉日！

新型コロナウイルスワクチンの追加接種を受けましょう

宮古地区医師会理事・情報部／奥平産婦人科医院院長　奥平　忠寛

全国的にまた新型コロナウイルスの流行がはじまっています。昨年の「デルタ株」、今年初めの「オミクロン株」、そして今度は「オミクロン株」の亜種（親戚のようなもの）である「BA・4」そして「BA・5」という新しいタイプのウイルスが流行しています。

この「BA・5」は今までのコロナウイルスと比べとても感染力が強く、おまけにワクチンを接種した方にも感染していくことがわかっています。さらにいうと従来の新型コロナウイルスに感染したことがある方に対しても、次々と感染をしていくことがわかっています。

従来の「オミクロン株」において、重症化する人の割合は50歳代以下で0・03％、60歳代以上で2・49％、死亡する人の割合は50歳代以下で0・01％、60歳代以上で1・99％と報告されていました。（厚生労働省資料 https://www.mhlw.go.jp/content/000927280.pdf）。

新しいタイプである「BA・5」が、従来の「オミクロン株」より重症化しやすいかどうかはまだはっきりしていません。ただ高齢者や基礎疾患（慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、の患者さんの倍になると喫煙）を持っている方では重症化しやすいということです。

しかし宮古島においては「重症の患者さん」を治療できる「ベッドの数」には限りがあります。

「重症の患者さん」の数が増えていき、防効果が減ってきている点は同じようです。

問題はこの「重症率」や「死亡率」という数字です。これは「100人の感染者が出た時に、一体何人重症（死亡）になるか？」と置き換えて良いと思います。つまり「重症率」や「死亡率」が低かったとしても、実際の感染者の数が100人から200人と増えて同じことですが、宮古島は離島という条件がある病予防管理センター（以下：CDC）によると、3回目、4回目のワクチンを接種（ブースター接種）することで、新型コロナウイルスの重症化を防げることがわかってきています。

これによると、50歳以上の成人が4回目の接種を受けた場合、3回目の接種を受けた人に比べて、コロナによる死亡リスクが4倍低くなっているとのことです。また4回目のワクチンを接種した人は未接種の人に比べて死亡するリスクが29倍低くなっていることもわかってきました。（https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/covid-data/covidview/#closerlook）

これと同じような報告は諸外国から出てきています。ワクチンの効果も「感染予防効果」よりは「重症化を防ぐ」というポイントへ話が変わってきているようです。

現在の新型コロナウイルスの流行をうけ、「あ、私も3回目のワクチン打とうかな？」とか「4回目のワクチンそろそろかな…」と気になっている方も多いと思います。

思い立ったら吉日です。ワクチンの追加接種を受けましょう！

最後になりますが、「医療」はその地域にとって「水」と同じようなものです。宮古島に住む私たちは、島で取れる「水」の量を超えて観光客を受け入れることは出来ません。それと同じように島の「医療」を超えて観光客を受け入れることも難しいのです。観光を産業の一つとしている宮古島の私たちは、せめて重症者の数を減らす努力をする必要があります。

PCRの検査をいくら受けても、重症の患者さんを減らすことは出来ません。様々な考え方や、特別な理由があってワクチンを接種できない人もたくさんおられるとおもいますが、特に重症のリスクを抱えているかたはワクチンを接種するようよろしくお願いします。こころおきなく気持ちを通い合わせることができる宮古島の日常を、一日も早く取り戻しましょう。

現在のところ日本での4回目接種の対象者は以下の通りです。

3回目接種から5カ月以上経過した方で、①60歳以上の方、もしくは②18歳以上60歳未満で基礎疾患を有するかた、もしくは重症化リスクが高いと医師が認める方。

（この文章は2022年7月18日の知見をもとに書いています）

宮古新報　2022年（令和4年）7月21日付け（7面）